認定介護福祉士養成研修 開催要綱

領域：医療に関する領域　科目：「疾患・障害等のある人への生活支援・連携Ⅱ」

内容：【疾患・障害等のある人への生活支援・連携Ⅰ】における基礎的な医学知識を活用して状態に応じた生活支援の実践や医療職等の他職種との連携について理解する。

1.目的

利用者のニーズの多様化や高度化に対応する質の高い介護実践、介護職の指導・教育、医療職等との連携強化など、幅広い役割を担う介護福祉士が求められてきています。これからは、介護サービス利用者の増加に伴い、介護職としての能力や知識に幅のあるメンバーをチームリーダーとしてとりまとめ、サービスの質の改善のために教育・指導等の育成に取り組むことも重要になってきます。さらに、これからの地域包括ケアシステムの推進には、利用者に寄り添う生活支援の専門職として、より広い視野をもった介護福祉士が必要になってきます。介護福祉士には資質向上の責務が課せられていることからも、今後はさらに介護福祉士のキャリアパス実現に向けた取り組みが重要になってきます。そこで継続的な教育機会を提供し、介護福祉士の資質を高め、社会的な要請にこたえるために「認定介護福祉士養成研修」を実施します。

【認定介護福祉士のねらい】

1) 生活を支える専門職としての介護福祉士の資質を高める。
　①利用者のＱＯＬの向上
　②介護と医療の連携強化と適切な役割分担の促進
　③地域包括ケアの推進　など
2) 介護の根拠を言語化して他職種に説明し共有したり、他職種からの情報や助言の内容を適切に介護職チーム内で共有することで、他職種との連携内容をより適切に介護サービスに反映することに寄与する。
3) 介護福祉士の資格取得後の継続的かつ広がりをもった現任研修の受講の促進と資質の向上を図る。つまり、介護福祉士の資格取得後も介護業界で努力し続け、継続的に自己研鑽する拠り所となる。
4) 介護福祉士の資格取得後のキャリアパスの形成

2.主催　一般社団法人沖縄県介護福祉士会

3.日時

①令和５年　12 月 16 日（土）受付 9：00～　講義 9：30～16：30
②令和６年　 1 月 13 日（土）受付 9：00～　講義 9：30～16：30
③令和６年　 3 月 9 日　（土）受付 9：00～　講義 9：30～16：30

※離島や北部等で働く介護福祉士、子育てや家族介護のため対面研修での受講が難しい介護福祉士等の要望を踏まえて、3 日間ともハイブリッド研修（ZOOM オンライン研修＋対面研修）となります。3 日間とも受講できることが必須要件となります。1 日のみの受講は認められません。県外の介護福祉士の方も受講可能です（別紙４参照）

4.会場　沖縄県総合福祉センター東棟 3 階視聴覚室（研修会場は変更される可能性があります）

〒903-0804　那覇市首里石嶺町 4-373-1

5.受講対象者

(1)および(2)のいずれも満たすもの
(1)「認定介護福祉士概論」を修了していること。
(2)「疾患・障害等のある人への生活支援・連携Ⅰ」を修了していること。

6.研修内容　別紙１「研修概要」参照

7.講師　看護師・保健師　平田　寿恵（ひらた　ことえ）氏

8.受講定員　18 人（受講申込みが定員に達し次第、受付を締め切りさせていただきます。）

9. 受講料　会員 15,000 円　非会員 30,000 円（認証審査に係る申請手数料等含む）

認証された科目については 3 年ごとに更新手数料（1 科目約 1,000 円）を負担していただきます。
受講料については、受講予定日の 1 週間前までに下記の振込先口座にお振り込み下さい。

振　込　先 口　座	（１）　振込先金融機関：**沖縄銀行　石嶺支店** （口座名義）（社）沖縄県介護福祉士会　会長　垣花　秀美 （口座番号）１４４８８９４（振込手数料は各自でご負担下さい） （２）　振込先金融機関：**ゆうちょ銀行** （加入者名）（社）沖縄県介護福祉士会 （口座記号）１７０３０ （口座番号）１１８４２９３１（振込手数料は各自でご負担下さい） ＊他の金融機関から振り込みされる場合は、（店名）七０八（読みナナゼロハチ）、（店番）７０８、（口座番号）１１８４２９３となります。

振込み後の参加取り消しや欠席の場合、受講料の返金はできませんので予めご了承下さい。

10. 修了について　研修科目ごとに修了試験や課題レポートの提出等があります。

それぞれの研修科目において修了認定の評価に合格することが科目修了の要件となります。
（別紙「認定介護福祉士養成研修の科目修了及び受講における留意事項について」参照）

11. 受講申し込み方法

別紙２「受講申込書」に必要事項を記入の上、下記問い合わせ先へＦＡＸ又は郵送でお送り下さい。また、記入後の「受講申込書」を PDF データに変換してメールにて申し込むことも可能です。

12. 問い合わせ先

〒903-0804　那覇市首里石嶺町 4-373-1　沖縄県総合福祉センター内西棟 4 階（事務局）
電話 098-887-3344（平日 13:00～17:00 まで受付）FAX 098-887-3391（24 時間受付）
一般社団法人沖縄県介護福祉士会　　Ｅ―ｍａｉｌ：okikaigo@gmail.com

13. その他

＊事前課題の作成に当たり本会ホームページ内特設ページ「認定介護福祉士」を確認して下さい。
＊担当講師より研修 1 日目及び研修 2 日目終了後に中間課題が出されます。
＊受講にあたり指定のテキスト「改訂ケアマネ必携！医療知識ハンドブック」（税込 2,200 円）「見て覚える！介護福祉士国試ナビ」（税込 2,860 円）を各自購入して下さい（ともに中央法規）。
改訂　ケアマネ必携！医療知識ハンドブック ｜ ケアマネジャー業務 ｜ 高齢者福祉 ｜ 福祉 ｜ 商品情報 ｜ 中央法規出版（chuohoki.co.jp）
見て覚える！介護福祉士国試ナビ２０２４ ｜ 介護福祉士 ｜ 資格試験対策書 ｜ 中央法規出版（chuohoki.co.jp）（国試ナビ２０２２または国試ナビ２０２３でも可）
＊受講にあたり別紙３「認定介護福祉士養成研修の科目修了及び受講における留意事項について」を確認して下さい。
＊修了試験の詳細については研修当日に担当講師より説明があります。
＊事前に本会事務局より受講予定者の方へ受講対象者の要件について確認・照会する場合がありますので予めご了承下さい。
＊会場駐車場は駐車台数が限られていますので、予め公共交通機関をご利用いただくか乗り合わせ等のご協力をお願い致します。研修会場は個人の希望による空調温度調節が難しいため必要な方は上着のご用意をお願い致します。
＊天候による諸事情（台風等）または新型コロナウイルス等の影響により本研修が中止あるいは延期される場合があります（研修開催直前の中止あるいは延期の可能性も含む）。
当該研修が延期された場合は改めて受講生の方々へ事務局より新しい日程等をご連絡致します。

【　研修概要　】

1. 生活支援で行う医行為や実践する際の留意点
2. 在宅療養者が使用する主な医療機器の取扱いに関する留意点
3. 生活支援における急変時対応
4. 生活支援における服薬管理に関する知識や留意点
5. 主治医やかかりつけの薬剤師等との連携

【　事前課題　】

事前課題Ｎｏ．１

・厚生労働省通知（医政発第 0726005 号、平成 17 年 7 月 26 日）を基に医行為ではない行為について①現場での対応、②多職種との連携･協働、③具体的な課題についてレポート形式用紙 A4 に 800～1000 字程度にまとめる。

事前課題Ｎｏ．２

・医療的ケアまたは看取り場面において、日本介護福祉士会倫理綱領の項目に沿って現場で経験した利用者の意思決定場面の内容を記入する。その際、感じたこと等も記入する。

事前課題Ｎｏ．３

・今までに現場で遭遇した急変事例を一例あげる。その時の利用者の症状・対応はどうだったか振り返る。またこの急変事例から感じた困難さや課題について A４レポート用紙に 800～1000 字程度にまとめる。

事前課題Ｎｏ．４（指定様式を使用する）

・以下にあげる日常の使用頻度の高い薬の目的と副作用についてまとめる。
・循環器系・呼吸器系・消化器系・中枢神経系

事前課題Ｎｏ．５

・介護現場で利用者の服薬介助で困ったことや課題、また誤薬の事例があれば A4 レポート用紙 800～1000 字程度にまとめる。

事前課題Ｎｏ．６

・多職種とどのように連携を図っていけばよいか、連携を図る上で日々の観察項目や記録の内容など自職場での実際の記録を踏まえ 800～1000 字程度にまとめる。

※研修当日事前課題Ｎｏ．１～６を１部（コピー）ずつ持参する。

※個人情報に関する留意事項

・個人情報の取り扱いには十分留意し第三者に開示されても支障の無い内容としてください。
・事例は個人情報が特定できないように修正加工してください。
・事例は研修の中で教材として使用し研修参加者等と共有されますので予めご了承ください。

※事前課題の提出締切日

・令和 5 年 12 月 8 日（金）＊事前課題の締切日を必ず厳守して下さい。

郵送の場合は締切日当日までの消印有効、Fax・メールの場合は締切日までの送信有効、

＊締切日までに事前課題の提出がない場合は当該研修科目の受講はできません。
＊締切日を超えて提出された事前課題は受け付けずそのまま受講生に返送します。
＊課題作成にあたっては時間的な余裕をもって取り組んで下さい。
＊事前課題を提出される際には、必ず本会指定様式の表紙を事前課題ごとにつけて下さい。

別紙２

【　送信先　FAX　098-887-3391　】（送付状不要）

認定介護福祉士養成研修 受講申込書

領域：医療に関する領域　科目：「疾患・障害等のある人への生活支援・連携Ⅱ」
内容：　【疾患・障害等のある人への生活支援・連携Ⅰ】における基礎的な医学知識を活用して状態に応じた生活支援の実践や医療職等の他職種との連携について理解する。

<table>
<tr><td>申込科目名</td><td colspan="4">疾患・障害等のある人への生活支援・連携Ⅱ</td></tr>
<tr><td>ふりがな</td><td colspan="2"></td><td rowspan="2">男性・女性</td><td rowspan="2">【　昭和　・　平成　】
年　　月　　日生</td></tr>
<tr><td>氏　名</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td>会員・非会員
※いずれかに○をつけて下さい。</td><td colspan="4">１．会員（４７００　　）⇒会員番号をご記入ください。
２．非会員</td></tr>
<tr><td rowspan="5">自　宅</td><td>住所</td><td colspan="3">〒</td></tr>
<tr><td>電話番号</td><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td>ＦＡＸ番号</td><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td>携帯番号</td><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td>パソコン
メール
アドレス</td><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td rowspan="3">勤務先</td><td>名称</td><td></td><td>職種</td><td></td></tr>
<tr><td>住所</td><td colspan="3">〒</td></tr>
<tr><td>電話番号</td><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td>介護福祉士
登録年月日</td><td colspan="2">年　　月　　日</td><td>登録番号</td><td>第　　ー</td></tr>
<tr><td>研修履歴
※該当する箇所を○で囲んで下さい。</td><td colspan="2">認定介護福祉士概論
修了　・未修了</td><td colspan="2">疾患・障害等のある人への生活支援・連携Ⅰ
修了　・未修了</td></tr>
</table>

※受講申込書に記載された個人情報は、本研修の運営管理の目的にのみ使用させていただきます。

【認定介護福祉士養成研修の科目修了及び受講における留意事項について】

[認定介護福祉士養成研修の修了要件]

〇全課程の出席を要する。公共交通機関の影響、冠婚葬祭、担当する利用者の急変といったやむを得ない事情による遅刻、早退については合計 30 分(遅刻、早退それぞれ 30 分)を上限として認める（この場合は事前課題とは別にレポート課題を課す)。
〇欠席の場合は修了を認めない。
〇事前課題は、Ａ～Ｄの４段階評価とし、Ｄ評価の場合は１度のみ再提出を認める。事前課題がＤ評価の場合は研修終了後一カ月以内に再提出する。その場合であっても修了試験を受けることは可能とするが、再度Ｄ評価となった場合は修了を認めない。なお事前課題の提出が指定の期限内に行われない場合、修了を認めない。
〇修了試験は、Ａ～Ｄの４段階評価とし、Ｄ評価の場合は１度のみ再提出を認める。修了試験がＤ評価の場合は評価結果が示されてから一カ月以内に再提出する。そこで再度Ｄ評価となった場合は修了を認めない。なお修了試験は、研修当日に実施する。

[認定介護福祉士養成研修の修了評価（以下①～④の全てを満たすこと）]

①出席状況が修了要件を満たしていること。(全課程の出席。ただしやむを得ない事情による 30 分以内の遅刻、早退は認める。詳細は修了要件欄を参照。)
②筆記試験を受けていること(過去 10 年間の医学に関する介護福祉士国家試験問題及び認定介護福祉士養成研修ガイドライン(「疾患・障害等のある人への生活支援・連携Ⅱ」で習得すべき知識)より 50 問程度抽出する。)
③事前課題をすべて提出していること。
④事前課題・筆記試験の全ての評価において A～C であること。D 評価の場合は 1 度のみ再提出を認め、C 以上の評価を得なければならない。
A：85-100　B：70-84　C：60-69　D：59 以下　（※D 評価の場合未修了となり、本科目の修了を要件とする科目は受講できない。)
＊医療に関する基礎的な理解を踏まえ、状態に応じた生活支援の実践や医療職等の他職種との連携を中心に出題する（急変時対応、服薬管理、医療機器、医療的ケア等)。

[事前課題・筆記試験・レポート試験における再提出の基準]

①文字数不足（1,000 文字指定の場合おおむね 800 文字以上で提出すること）
②課題内容に沿っていない（単なる感想文であったり決意表明の文章ではないこと等）
③書かれている内容が著しく薄い（医療職等他職種の専門職が読んだときに書かれている内容が理解できない等）

[受講における留意事項]

受講生本人または受講料を負担している自職場からの希望・要請がない限り、原則本会より再提出に対する指導・助言は行いません。介護福祉士国家資格者プラス介護福祉士基本研修を修了していることを今回の認定介護福祉士養成研修の受講要件としています。そのため厚生労働省が示している「介護福祉士資格取得時の到達目標（別紙「養成の目標」参照)」及び「介護過程が展開できる」レベルに受講生が達していることを前提として講義・演習を進めていきます。受講にあたり、「介護福祉士資格取得時の到達目標（別紙「養成の目標」参照)」及び「介護過程が展開できる」レベルに達していることをご確認のうえお申し込み下さい。

別紙４

【認定介護福祉士養成研修における県外受講生の受け入れについて】

会員非会員を問わず、原則県外受講生の受け入れを認める。

受講要件は、開催要綱等に記載している通りとする（例えば「基本研修」修了生等）。

受講料は、開催要綱等に記載している金額とする。

科目ごとの更新手数料は１科目 1,000 円程度とする（3 年ごとに請求する）。

対面研修で実施する科目については、沖縄県に来沖して受講する（来沖にかかる費用は受講生の自己負担とする）。

オンライン研修またはハイブリッドで実施する科目については、自職場等から受講する（パソコンによるオンライン環境を整備する）。

事前課題・中間課題・事後課題については、開催要綱等に記載している内容とする。
⇒科目により、本会が実施した「介護福祉士基本研修」･「ファーストステップ研修」･「認定介護福祉士養成研修」で取り組んだ課題を踏まえて、事前課題・中間課題・事後課題を課している場合がある。
科目により、本会が実施した「介護福祉士基本研修」･「ファーストステップ研修」･「認定介護福祉士養成研修」の事前学習（当該科目以外のテキスト購入も含む）が求められる場合があることを、県外受講生が了解したうえで受け入れを認める。

科目認証後、受講生の希望により修了証を発行する。

令和 5 年 1 月 28 日（土）
一般社団法人沖縄県介護福祉士会理事会承認